

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）	総合評価				
よく考え、工夫する子ども（確かな学力） 人やものにやさしい子ども（豊かな心） 進んで取り組み、やりぬく子ども（自主自立）	笑顔あふれる 中塩田の子 【一人になれる 一つになれる】	保護者の方からは子どもたちが「前向きに学校へ通っている点」、「意欲的に授業に参加し学ぼうとしている点」について肯定的な評価を得ている。子どもたちの主体性を重視した本校の教育活動が、子どもたちや保護者の方々に実感を伴った成果として感じてもらえているのではないかと考えられる。 一方で、以前から課題となっている、自分から挨拶できる姿や姿勢の維持、体力向上の継続的な向上については、日常生活における全校での創意工夫に取り組みでいきたい。例えば、今年度の児童会活動では、なかよし旬間中に「挨拶から仲良くなろう」という試みに取り組んでいる。こうした、課題への取り組みを全校体制で行いながら、子どもたちの成長が図れるように努めていきたい。				
	今年度の重点目標	A	B	C	D	
	① よく聴いて、自分の思いを表現できる子（話す・かく）	・思いを表現することに苦手意識がある。 ・聴くことに課題があるが指導を続けてきたことで改善されてきた。 ・「書く」が表現が向上してきている。 ・グループ内で自由に表現できている。	○			改善策・向上策 ・話す機会を増やし「できた」経験を積ませる。 ・安心できる学級づくりにも努める。 ・表現の仕方を工夫していく。 ・話す場面、聴く場面を区別する。
	② 自分から挨拶し、相手も大切にできる子（温かい言葉・思いやり）	・自分から挨拶する子が多くなってきている。 ・挨拶をしながら教室に入ってくる。 ・相手への温かい言葉も多く聞かれるが、相手を傷つける言葉を発してしまう子もいる。		○		・なかよし旬間や道徳の学習で意識づけをしていく。 ・乱暴な言動には、相手のことを考えた振り返りを徹底する。
③ 友と協力し合い、作業や活動に根気よく取り組む子（黙々活動）	・清掃にしっかりと取り組む子が増えてきた。 ・認められ自信をつけている姿が多くみられる。 ・作業や取り組みに消極的な姿、私語などが周りに影響を与えてしまうこともある。			○	・一人一人に分担を決めて、その子に合った仕事（活動）を任せていく。 ・努力している姿、頑張っている場面を大いに認め合う。	

領域	対象	評価の観点	評価方法	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標	①	A わかりやすい板書	「ねらい」や「まとめ」を板書に位置づけ、授業の流れが分かる板書を心がけているか。	アイウエオ	・45分間の流れがわかる板書を心がけている。 ・chromebookの活用やホワイトボードなどを用いた学習など、板書以外にも掲示する工夫を取り入れている。 ・教科や内容によって、板書にも差がある。			○	・まとめを意識した板書計画に努める。 ・単元を通して何を学ぶのか、子どもたちが明確にわかるような工夫をしていく。
		B ふり返りの時間の確保	ふり返りや発表の場を位置づけ、子ども自らが学びの成果を実感できる工夫をしているか。	アイウエ	・特に算数の時間では振り返りの時間を確保するように努めた。 ・教科による差や十分な時間を確保できないときもある。			○	・終わり5分の振り返り時間を確保していく。 ・短時間でも取り組みるように、観点を示して振り返らせるような工夫をしていく。
		C 家庭学習の充実	家庭学習の手びきをもとに、家庭と連携した家庭学習や自主学習の充実に努めているか。	アイウエ	・家庭でよく協力してもらっている。 ・他学年の自主学習の様子がわかりにくい。			○	・意欲的に取り組んでいる様子を見合い、参考にする。 ・頑張りたいような工夫を考えたい。 ・宿題で手一杯な子に、自主学習が負担とならない配慮もしていく。
	②	D 楽しくけじめある学校生活	「挨拶・返事・靴そろえ・場に応じた姿勢」を大切にし、安全、安心、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか。	アイウエオ	・全校集会ができるようになり、場に応じた態度や姿勢を意識する機会が増えた。 ・時間を意識して行動しようとする姿が見られる。 ・進んで挨拶できる子どもたちを育てたい。			○	・安全に生活する意識をさらに醸成させていきたい。 ・子どもたちだけでなく、大人から積極的に声がけをしていく。
		E 異年齢の友だちとの活動	異年齢活動を通して、子ども同士が温かい言葉をかけ合い、相手を思いやる意識が高まったか。	アイウ	・なかよしタイムでのかかわりを楽しんでいると感じている子が多く、高学年がいろいろな企画を考えてきてくれたありがたい。 ・異学年との関わりの中で、普段は見えない面を見ることができた。			○	・異学年交流を継続させていく。
		F 交流活動の充実	地域の方々や園児、福祉施設の方々等と関わり合えるような活動に取り組んだか。	アイウオ	・いろいろな活動が再開できてよかった。 ・盆進祭りに楽しんで参加できた。 ・金管バンドクラブや合唱部では地域交流が再開できたが、学年の活動としての機会がまだ少ない。			○	・いろいろな活動が再開してきている中で、現状どのようなふれあいができるか、情報収集し、地域の方々と情報を交換する機会がほしい。
	③	G よく考え行動する児童の育成	よく話を聴き、深く考え、自ら気づいて行動する気持ちを高めたか。	アイウ	・困っている友だちに声をかけられる子が多い。 ・「よく考える」「深く考える」という点において、取り組みや評価の難しさを感じる。			○	・「どうしたらよいのか」を考えるための工夫や振り返りの場面を位置づける。 ・自分から考えたいような授業づくりを心がける。
		H 体力向上の継続的な活動	マラソンや縄跳び等、進んで継続的に体力向上に向けた活動ができるよう指導を工夫できたか。	アイウ	・マラソン月間中には、児童会が作成したマラソンカードに色塗りをすることで意欲が増し、進んで校庭を走る姿が見られる。 ・マラソン月間が終わると、体力向上の意識が薄れる。			○	・体力向上のサーキットや簡単な運動を体育の時間に定期的に取り入れる。 ・外遊びやマラソンなど、大人も子どもたちに混ざり一緒に楽しむ。
		I 仕事に対する意識の醸成	清掃活動や当番活動・係活動、花壇での花づくり等を通して、役割を担うことの大切さや仕事に対する意識を醸成したか。	アイウエ	・児童会の当番活動に責任をもって取り組める子が多い。 ・仕事に意欲的な姿を認められることで、さらに前向きに取り組んでいる。 ・清掃を一生懸命取り組んでいる。			○	・引き続きよい姿を認めていく。 ・一人一人に具体的な役割を与え、責任を持って取り組めるようにする。 ・仕事に対する考えが自分事になるように意識づけていく。
		J 学校支援ボランティアとの連携	地域ボランティアとの連携を通して、読書・学習・体験活動・交通安全に対する意識を高めたか。	アイウ	・ちんぷいの方々との読み聞かせを楽しみにしている子が多く、夢中で聞いている。 ・学習ボランティアの方々のおかげで、復習の機会が確保できている。 ・低学年も英語学習の機会があり、ありがたい。			○	・引き続きお願いしていく。
学校運営	K 授業のユニバーサルデザイン化	一人一人の子どもにもわかりやすい授業となるように、学習環境を整えることができたか。	アイウオ	・今年度、多くの公開授業を校内で見せてもらっている。UICの3観点や授業づくりに参考にさせてもらっている。 ・授業だけでなく、教室環境を整える意識が、教師と子どもたち共に付いてきている。			○	・互いの授業を見合うことは、教師自身の学びに繋がっているため、継続していく。	
	L 職員研修の充実	子どもから学び、子どものための授業にするために、教職員が互いの実践に学び合いながら研修し、授業に生かすことができたか。	アイ	・学力向上のための重点研究が、今年度「一人一公開」として取り組んでいることで自分事として考えられている。 ・実践を見て学ぶことがたくさんある。 ・毎回参観するのは難しい。			○	・研修の時間をしっかりと確保していく。 ・より多くの職員が研修会にさんかできるような体制、工夫を整える。	
	M いじめへの対処	いじめを防止し、いじめがおきた際、適切に対処することができているか。	アイウエオ	・事案に対して、できる限り素早い対応を心がけた。 ・その日のうちの対応や1件1件について個別に対応したことで保護者の方と連携が取れた。 ・言葉の乱れや攻撃的な口調を指導したい。			○	・子どもたちのかかわりにアンテナを高くし、サインを見逃さないようにする。 ・なんでも話せる人間関係をお互いに築いていく。	